

日・ウルグアイ首脳会談
二国間関係強化のための方策
2021年の両国外交関係樹立100周年に向けて
(ファクトシート)(仮訳)

2018年12月2日、安倍晋三日本国総理大臣は、日本の総理大臣として初めてウルグアイのモンテビデオを公式訪問し、タバレ・ラモン・バスケス・ロサス・ウルグアイ東方共和国大統領と首脳会談を行った。

両首脳は、両国が、国際社会における平和及び繁栄の鍵である、自由、民主主義、人権及び法の支配といった普遍的価値を共有する重要なパートナーであることを再確認した。

両首脳は、2021年の両国外交関係樹立100周年に向けた、以下の分野における両国間の関係の強化の重要性を共有した。

- 両首脳は、ウルグアイの開放的で自由な経済システムのおかげで、日本及びウルグアイの二国間貿易及び投資が一層拡大していることで一致した。
- 両首脳は、二国間経済の一層の発展に確実に貢献するであろう、日本産牛肉及びウルグアイ産牛肉向けに相互に市場を開放するための両国の権限ある当局の努力を高く評価した。両首脳はまた、最も早い機会に牛肉の商業貿易を実現するために権限ある当局が12月中に現地調査を行うよう指示した。
- 両首脳は、投資協定の発効、租税条約の交渉開始、及び税関相互支援協定の実質合意等の経済関係を強化するための法的枠組み整備が進展していることを歓迎した。
- メルコスール現議長国としてのウルグアイの指導力を認識しつつ、両首脳は、日本とメルコスール間の相互貿易及び経済関係を強化するためのコミットメントを強めた。

- 安倍総理は、ウルグアイにおける日本の投資を促進するため、メルコスール圏における地域的バリュー・チェーンを構築することに貢献するであろうビジネス・ミッションを、「ウルグアイ XXI(投資・輸出促進機関)」と協力して、2019年4月にウルグアイに派遣するという、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)の意図を表明した。
- バスケス大統領は、人間社会の未来の展望を促進し、人間の健康、食料、農業、環境、気候変動、エネルギー、性の平等及び自然災害防止といった共通の課題解決を模索する2025年国際博覧会の開催都市としての大阪の選出について日本を祝福した。安倍総理は、ウルグアイの支持に謝意を表明し、2025年大阪・関西万博へのウルグアイの参加への希望を表明した。
- 安倍総理は、ウルグアイの確固とした経済成長に関する認識を表明した。バスケス大統領は ODA を含む日本の貢献に感謝するとともに、移行期にある国としてのウルグアイに対する日本の継続した支援について期待を表明した。安倍総理は、ウルグアイが社会的・経済的な課題を克服するため、ウルグアイと引き続き協力していくとの日本の意図を表明した。
- 両首脳は、情報通信技術が両国及び国際社会全体の将来において重要な役割を果たすことを目的としていることについての見解を共有した。両首脳は、この分野における情報交換を含む協力を探求するという関係当局の見解を共有した。バスケス大統領は、2019年にウルグアイが議長国を務め、また、首脳会議を主催する、「デジタル国家グループ」についてのウルグアイの経験を紹介した。
- 安倍総理は、ウルグアイ政府及び国民が日系人と呼ばれる日系移民を長期にわたって温かく受け入れてきたことに対し、心からの感謝を表明した。両首脳は、2018年の日本人ウルグアイ移住110周年を歓迎し、日系人が両国友好の基礎となってきたことについて共通の見解を共有した。
- 両首脳は、スポーツ交流、大学間交流、文化交流等の幅広い分野で両国間の交流が発展していることを高く評価した。

- 両首脳は、2018年10月に日本スポーツ庁とウルグアイ東方共和国スポーツ庁との間のスポーツ協力に関する協力覚書が署名されたこと並びに日本で開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へのウルグアイの参加を歓迎した。
- 両首脳は、一層の相互理解を促進し、国際場裡におけるものを含む政治分野の協力を強化する政治分野の協議の重要性と継続を再確認した。
- 2016–2017年の国連安全保障理事会における相互協力を強調しつつ、両首脳はまた、国連での幅広い分野における協力を強化することを約束した。